

MUSIC LIFE

ロック黄金時代 & トリビュートライブ情報 ミュージック・ライフ

特集:GUNS N' ROSES TAKE FREE



アクセル・ローズが語る
俺たちの
「Welcome To The Jungle」

Tribute to Guns N' Roses,
Show & Exhibition 開催決定！

MUSIC LIFE CLUB 発足!
musiclifeclub.com

2017-2018
WINTER
ISSUE

ミュージック・ライフ2017-2018冬号(無料)
QUEEN & GUNS N' ROSES Photo by MUSIC LIFE ARCHIVES/KOH HASEBE
発行:SHINKO MUSIC ENTERTAINMENT/LEGEND OF ROCK/duo MUSIC EXCHANGE
この冊子の記事・写真の無断転載は固くお断りします。
記事、広告の掲載と配布に関するお問い合わせは info@legendofrock-show.com まで

MUSIC LIFE

ロック黄金時代 & トリビュートライブ情報 ミュージック・ライフ

特集:QUEEN

TAKE FREE



クイーン狂騒曲
第1楽章は日本から!

Tribute to Queen,
Show & Exhibition 開催決定！

MUSIC LIFE CLUB 発足!
musiclifeclub.com

2017-2018
WINTER
ISSUE

発行: SHINKO MUSIC ENTERTAINMENT/LEGEND OF ROCK / duo MUSIC EXCHANGE

クイーン狂騒曲第1楽章は日本から

クイーン世界制覇に勢いをつけるきっかけとなつた 1975、1976 年の来日。その熱狂、混乱のまつただ中にいたミュージック・ライフ元編集長が振り返るクイーンと日本。(文: 東郷かおる子 2011 年「早わかり! クイーン伝説」から再掲載)



▲1976年4月、世界を圧倒したアルバム『オペラ座の夜』リリース直後に2度目の来日を実現させたクイーン。
コンサートのオープニングは「ボヘミアン・ラプソディ」だった。取材先の宿泊ホテルで表紙撮影。

忘れもしない。それは 1975 年 4 月 18 日、羽田空港での出来事だった。到着ロビーには「WelcomeQueen!」と書かれた横断幕やプラカードを手にした約 1000 人もの少女達が溢れていた。ベッカム様もイルハン王子も、ブライアンもキアヌ・リーヴスも叶わない大騒動が勃発したのは、4人の男性がロビーに姿を現した直後だった。ギャハッ! という絶叫と共にあらゆる物を蹴飛ばして突進する少女達、必死の形相で怒鳴る警備員、フラッシュを浴びせるマスコミのカメラ……そう、この日、クイーンが初めて日本の上を踏んだのだ。迎えの車に押し込まれた 4 人が去った後のロビーに残されたのは号泣する少女達、汗だくの報道陣、散乱する壊れた椅子と灰皿、というもの凄い有り様だった。そうそう、まだ成田空港は影も形もなかった。

ブライアン・メイ曰く「いきなり別世界に来たとしか思えなかつた」と言うのも当たり前。当時のクイーンは本国イギリスで、ようやく知られ始めた頃で、アメリカでは、まだ無名に等しかつたのだから。ところが日本市場では 2 枚目のアルバム『クイーン II』でロック・ファンの心を完全に掌握。ルックスの良さも手伝って、すでにかなり熱狂的なファンが育っていた。とはいえたが如き、彼らは日本に「ロック少女」を誕生させた最初のロック・バンドだったとも言える。

QUEEN 2001年ロックの殿堂受賞

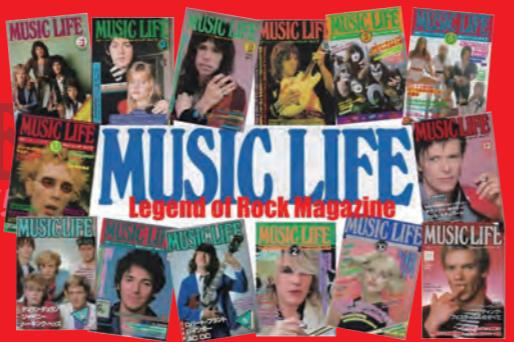
ミュージック・ライフ世代の洋楽ファンの皆様へ MUSIC LIFE CLUB 発足のお知らせ

ザ・ビートルズから、レッド・ツェペリン、クイーン、ジャパン、キッス、ヴァン・ヘイレン、そしてデュラン・デュランまで。ロック黄金時代を雑誌ミュージック・ライフと共に過ごされた音楽ファンの皆様に嬉しいお知らせです。

2018 年春、音楽情報ネットワーク、“MUSIC LIFE CLUB” がスタートします。定期的に主に 60 年代から 80 年代に活躍した洋楽アーティストのコンサートやイベント情報、本や CD の発売情報、などなどの最新情報を配信いたします。

詳しい情報は以下まで。お楽しみに。

musiclifeclub.com



MUSIC LIFE COVER HISTORY



クイーンのデビュー・アルバム『戦慄の王女』が日本でリリースされた 1974 年当時、ミュージック・ライフ (ML) 紙上では、プログレッシブ・ロックと呼ばれたエマーソン・レイク&バーマー、イエス、ピンク・フロイドといった大物バンドが幅を利かせていた。

そんな中、読者の(特に女性)に大きな衝撃を与えたのがクイーンの登場。1974 年 6 月にリリースされた『クイーン II』からシングル・カットされた「輝ける 7 つの海」のスマッシュヒットを期に ML 紙上でも毎月掲載ページが増えていった。最初の表紙は 1974 年 12 月号。誰が見てもセンターのロジャーがリード・ヴォーカルと思ったことで知られるグループカット。その後、70 年代後半の表紙獲得回数でも圧倒的な強さを見せ、初表紙の 1974 年から(オリジナル・メンバーでの)最後の来日の 1985 年までの間、なんと表紙は 15 回! この記録はあのビートルズの次ぐものだ。

MUSIC LIFE BACK NUMBER

2017.11.17 [Fri.] on sale
¥19,278- (tax included)

※3CD+DVD+LP UICY-78501

(日本盤のみCDはSHM-CD仕様)

※輸入国内盤仕様/完全生産限定盤

※日本盤のみSHM-CD仕様

解説・歌詞対訳付き



QUEEN - 世界に捧ぐ -

40 周年記念 スーパー・デラックス・エディション
クイーン初となるオリジナルアルバムのスーパー・デラックス化が実現! その第一弾は、代表曲「ウィ・ウィル・ロック・ユー」や「伝説のチャンピオン」を收める不朽の名作『世界に捧ぐ』(1977) の、アウトテイクやアーティティーズ、アナログ、映像などで構成された 40 周年記念エディション!

<http://store.universal-music.co.jp/artist/queen/>



Bravado × QUEEN - 世界に捧ぐ -

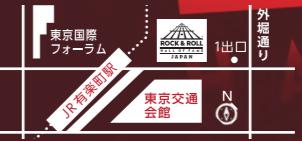
2017.11.17 [Fri.] on sale
Price: ¥4,000- (tax included) S / M / L / XL
<http://store.universal-music.co.jp/artist/queen/>



ロックの殿堂がついに日本上陸! — アメリカ以外では世界初 —



ロックの殿堂ジャパンミュージアム
有楽町インフォス内 (無印良品 1F 奥)
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-8-3
前売 大人 1,800 円 / 学生 1,300 円
当日 大人 2,200 円 / 学生 1,600 円



公式SNSもチェック!/
[Twitter](#) [Facebook](#) [Instagram](#)
オフィシャルサイト <http://rrhfj.com>
ロックの殿堂ジャパンミュージアム 検索

LEGEND OF ROCK

メンバーそれぞれが自身が担当するパートの
Tribute Actorという類稀なトリビュートバンド。

2011年結成。洋楽トリビュートバンドショウ「LEGEND OF ROCK」に参加し、東京を中心に積極的なライブ活動を行う。2012年には念願の英國 Brighton と London での公演を実施し好評を得る。2013年、2014年には SUMMER SONIC への出演を果たす。メンバーそれぞれがオリジナルメンバーを愛し、クイーンが持つ華麗さの再現を目指す。

“Queer as Queen” is a tribute band dedicated to the British legendary band “Queen”. It stands out that each member acts as each part of Queen.

Formed in 2011, it performed at many tribute bands gathered show "LEGEND OF ROCK" and has been performing mostly in Tokyo until now. In 2012, it performed in its anticipated Queen's home country Brighton and London in England. It was greatly appreciated. In 2013 and 2014, it performed in SUMMER SONIC consecutively. Each member loves each original one and the band is going forward to become splendid like Queen.



Queer as Queen

LEGEND OF ROCK

演奏は勿論のこと、ビジュアルをここまで寄せているバンドはいないと言っても過言では無い、日本でも有数のトリビュートバンド。

2007年結成。都内を中心活動し、洋楽トリビュートショウ「LEGEND OF ROCK」に参加。2013年には日比谷野外音楽大講堂で実施されたトリビュートバンドフェスに出演。2014年には先のトリビュートバンドフェスに加え、SUMMERSonicにも出演。昨年の単独公演を大成功させ、その存在感が日に増していくと共に全国ツアー及び海外公演を目指す。

“Guns Love Roses as Guns N' Roses” is a tribute band dedicated to the American legendary band “Guns N' Roses”. There is no exaggeration to say that any bands cannot copy visual and play of original members like this band.

Formed in 2007 in Japan, it performed at many tribute bands gathered show "LEGEND OF ROCK" and has been performing mostly in Tokyo until now. In 2013, it performed in a rock tribute band festival held at Hibiya Open-Air Concert Hall. In 2014, it performed at the same festival and performed in SUMMERSonic. In 2016, the first solo live was successfully achieved. As the presence has been increasing day by day, it aims all around Japan tour and furthermore overseas.



Guns Love Roses as Guns N' Roses



Show&Exhibition
LEGEND OF ROCK Vol.102 -For MUSIC LIFE Lovers
~Tribute to Queen~ supported by Shinko Music Entertainmnet

2018
2/19 MON.

チケット予約

日程: 2018年2月19日(月)
会場: 渋谷 duo MUSIC EXCAHNGE
時間: 開場 18:00 開演: 20:00
出演: QUEER as QUEEN
内容: Tribute Show/Exhibitioon/and more
料金: 前売り ¥3,500 当日¥4,000 共に1 drink別
後援: ROCK & ROLL HALL OF FAME JAPAN
特別協力: (株)シンコーミュージック・エンタテイメント / MUISC LIFE CLUB

Date: Monday, 19 February 2018
Venue: Shibuya duo MUSIC EXCAHNGE
Time: OPEN 18:00 / START 20:00
Act: QUEER as QUEEN
Contents: Tribute Show/Exhibitioon/and more
Ticket: ADV. 3,500JPY DOOR. 4,000JPY (without 1 DRINK)
Supporter: ROCK & ROLL HALL OF FAME JAPAN
Special Cooperation: SHINKO MUSIC ENTERTAINMENT CO., LTD. / MUISC LIFE CLUB

Ticket Reservation

Show&Exhibition
LEGEND OF ROCK Vol.103 -For MUSIC LIFE Lovers
~Tribute to Guns N' Roses~ supported by Shinko Music Entertainmnet

2018
3/12 MON.

チケット予約

日程: 2018年3月12日(月)
会場: 渋谷 duo MUSIC EXCAHNGE
時間: 開場 18:00 開演: 20:00
出演: Guns Love Roses as Guns N' Ros
Guest DJ 増田勇一
内容: Tribute Show/Exhibitioon/and more
料金: 前売り ¥3,500 当日¥4,000 共に1 drink別
後援: ROCK & ROLL HALL OF FAME JAPAN
特別協力: (株)シンコーミュージック・エンタテイメント / MUSIC LIFE CLUB

Date: Monday, 12 March 2018
Venue: Shibuya duo MUSIC EXCAHNGE
Time: OPEN 18:00 / START 20:00
Act: Guns Love Roses as Guns N' Roses
Guest DJ Yuichi Masuda
Contents: Tribute Show / Exhibitioon / and more
Ticket: ADV. 3,500JPY DOOR. 4,000JPY (without 1 DRINK)
Supporter: ROCK & ROLL HALL OF FAME JAPAN
Special Cooperation: SHINKO MUSIC ENTERTAINMENT CO., LTD. / MUISC LIFE CLUB

Ticket Reservation

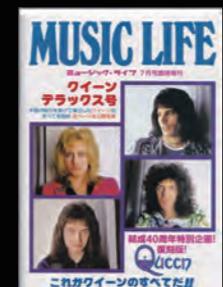


QUEEN BOOKS



『ミュージック・ライフが見たクイーン』
[B5 判 3,086 円]

クイーンをどこよりも早く認めたのは日本の音楽ファンだった。そして、その魅力をどこよりも熱く伝え続けたのが“ミュージック・ライフ”。日本初紹介からフレディ追悼まで、栄光の軌跡を丁寧に追った一冊。



『クイーン デラックス号』
[A4 判 2,570 円]

1976年、クイーンの2度目の来日に密着したミュージック・ライフ刊行号。多くのクイーン・ファンに愛されベストセラーを記録。結成40周年の記念に復刻再発売が実現し現在はクイーンのファンイベントなどで特別販売中。



『QUEEN in 3-D』
[豪華装丁 A4 判 9,720 円]

ブライアン・メイ自らが編集・撮影した写真集。ほとんどの写真が3D用カメラで撮影され特殊なメガネで見るとリアルな立体画像を楽しむことができる。国内販売版には詳細な日本語解説付き。



<https://www.shinko-music.co.jp/?s=QUEEN>

GUNS N' ROSES BOOKS



『ガンズ・アンド・ローゼズとの30年』
[A5 判 1,944 円]

デビュー前から彼らに注目し、直接の取材も幾度となく行なってきた増田勇一氏。現在に至るまでバンドと並走し続けてきた30年間の歴史と想いを書き尽くしたファン必読の一冊！



『ミュージック・ライフが見たLAメタル』
[B5 刊 3,086 円]

80年代中盤、LAで新しいムーヴメントが巻き起こった。モトリー・クルー、ラット、ボイズン、W.A.S.P.、ドッケン、クワイエット・ライオット、ウォレン特から、シーン末期にどどめを刺したガンズ・アンド・ローゼズまで。



『CROSSBEAT ガンズ・アンド・ローゼズ』
[B5 刊 1,944 円]

2017年、スラッシュ、ダフが加わり再結成したバンドが24年振りに来日!! その絶好的のタイミングで緊急発売されたムック。メンバー自身による名作「アベタイト・フォー・ディストラクション」全曲解説を本邦初公開。



<https://www.shinko-music.co.jp/?s=GUNS%20N%27%20ROSES>



MUSIC LIFE BACK NUMBER



アクセル・ローズが語る俺たちの「Welcome To The Jungle」

ガンズ・アンド・ローズのデビューアルバム『アペタイト・フォー・ディストラクション』がリリースされたのは1987年夏。それから、全世界で人気が爆発するまではあっという間だった。そして同年7月号では早くもアクセルのソロ表紙が実現！初来日直前に実現した独占インタビューから、代表曲「ウェルカム・トゥ・ザ・ジャングル」に関して語ってくれた一部を紹介しよう。（MUSIC LIFE 1988年7月号より再掲載）

——今年のMUSIC LIFEの人気投票でガンズ・アンド・ローズ（以下GN'R）が最優秀新人賞に選ばれたのを知っている？

AXL：そいつは知らなかったなあ。勿論俺達が音楽的に評価されたってことはうれしいし誇りに思う。（手にしたMUSIC LIFEを見ながら）あ、キュリオシティ・キルド・ザ・キャットより上なんだ。俺のガールフレンドの妹がキュリオのほうが日本ではビッグだっていうから賭けたんだ（笑）、俺達のほうがビッグだってことだろ？いいね。俺もそうだけどバンドのメンバーもいつも日本公演を実現させたいって話していたんだ。ジーダス・プリーストやチープ・トリックの日本公演のライブ・アルバムなんかよく聴いてるし、日本にはすごく興味があるんだ。夏には日本に行くぜ。

——今は、何をしているの？

AXL：新曲の仕上げなんだ。次のアルバムに入れたい曲もあるし、今実験段階なんだ。それとシングルの「スウィート・チャイルド・オブ・マイン」用のビデオ録りもあるし、ビデオを作るのは二度目だから、今度はもっとうまくいくと思うな。

——最初のビデオ作品の「ウェルカム・トゥ・ザ・ジャングル」の中に出てくる少年はあなたの自身のこと？あなたにとってのジャングルって何？

AXL：（うなずく）まだ、バンドとも呼べないような駆け出しの連中が、飢えながらんとかレコード会社との契約のチャンスを窺って、色々なトラブルにもまれていることがよくあるだろ？それにドラッグや暴力、警察に引っ張られたり、それが罪だと言うんじゃなくて、現実に起こってることで俺達もそんな中で生き残っていかなければいけないわけさ。あの

曲を書いた時点じゃ、俺達も世界を目指して必死になって生きてきた。探ししているものが、善か悪かのどっちがだっことも分かってた。つまり、あの曲で言いたかったのは、あれが現実で、俺達はその中で生きているってことさ。別にLAに限らず、都会ならどこにでも転がっている風景さ。俺はそんな状況をいくつも見てきたぜ。元のタイトルはジャングルじゃなくて「ウェルカム・トゥ・ザ・シティ」だったんだが、シティじゃ楽園みたいだから変えたんだ。要するに“ジャングル”ってのは“現実”なんだ。

——“ジャングル”=都会というのはいつだって若者には魅力的であるわね。

AXL：そうだな。でも不思議なんだが、あの曲はロックンロールなんて全然興味のない奴等も好きだって言ってくれる。おれの親父もあの曲を聴いて「良い曲だ、映画かなんかに使える」と言つてくれた。親父に言われた時は嬉しかったよ。音楽なんて関係ない人間の客観的な意見だからね。

——故郷の田舎町から初めてLAに出てきた時、あなたもビデオの中の少年のようにショックを感じた？

AXL：想像はしていたけどな。でも実際の話、都会じゃ成功するための何かが用意されているわけじゃないから、戸惑ってる暇なんてないんだ。いったい何から始めたらいいのかもわかりやしない始末さ。まるで目の前にでかい壁があるようなもんだ。自分たちがどうしたいのか、論理的に説明しなきゃいけないし、色々な人と会いビジネスの政治的な部分も考えなきゃならない。今まで考えもしなかったことが一度に起きたから、初めてLAに来たときには、もうクタクタに疲れちまった。それで何度も故郷のインディアナに戻って行ったり来たりして、頭と体を休めて俺がいったい何者なのかをよく思い出して、それでまたLAに行く。で、最終的にLAでやろうと決めたわけさ。金もなかったし、精神的にも時間がかかるたよ。でも決心してからは「俺は弁護士にも医者にもならない、大学にも行かない。やりたいことはひとつだ」と自分に言い聞かせて今に至っている。



GUNS N' ROSES
2012年ロックの殿堂受賞